

教養教育重視の総合大学として さらなる高みへ

詳しくはこちら



教養教育センター

時代に求められる能力の養成

東北学院大学では、2023年度より、教養教育の新たなカリキュラムが始まっています。本学は1886年の仙台神学校の開設以来、「福音主義キリスト教に基づく個人の尊厳の重視と人格の完成」という建学の精神のもとで教養教育を重視してきました。この伝統に立脚し、情報化、国際化する社会の中で求められる能力を養成するため、文系・理系、学部・学科を問わず、すべての東北学院大学生に開かれた新たな全学共通の科目を開講しています。

教養教育を根幹に、
専門教育への学びの枝葉を広げる

東北学院大学の教養教育では、「TGベーシック」を含む「教養教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」などを通じて、社会生活に欠かせない「基礎的・汎用的能力」を修得します。その上で、それぞれの専門的学問に対し、より深く多角的で高度なアプローチを実現します。



※設置計画は予定であり、計画内容は変更されることがあります。

全学部共通のカリキュラム

	教養教育科目			外国語科目			保健体育科目	留学科目			
	TGベーシック			共通教養科目							
	人間的基礎	知的基礎	課題探究	人文系	社会系	自然系			第1類	第2類	第3類
1年次	聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想 よき社会生活のためにA (法律) よき社会生活のためにB (福祉) よき社会生活のためにC (健康)	リーディング&ライティング クリティカル・シンキング 情報リテラシー 統計的思考の基礎 科学的思考の基礎	キャリア形成の探究 地域ボランティア活動の探究 課題探究演習	哲学 芸術論 文化の歴史 音楽 倫理学 文学 歴史学 文化人類学 言語論	心理学 社会学 経営学 経済学 法学 日本国憲法 現代の政治 地理学 社会福祉論 ジェンダー論 東北地域論	AI社会の基礎 数理の科学 記号論理学 生命の科学 環境の科学 自然の科学 先端科学と技術 AI社会の基礎	英語ⅠA・ⅠB	ドイツ語ⅠA・ⅠB フランス語ⅠA・ⅠB 中国語ⅠA・ⅠB 韓国・朝鮮語ⅠA・ⅠB	ベーシック英語 英語コミュニケーション	スポーツ実技A スポーツ実技B 体育講義	海外研究B 海外研究C
2年次	共生社会と倫理 科学技術社会と倫理		データ活用による探究 アントレプレナーシップの探究 地域課題の探究			AIデータサイエンス概論	英語ⅡA・ⅡB	ドイツ語ⅡA・ⅡB フランス語ⅡA・ⅡB 中国語ⅡA・ⅡB 韓国・朝鮮語ⅡA・ⅡB ドイツ語コミュニケーションA・B フランス語コミュニケーションA・B 中国語コミュニケーションA・B 韓国・朝鮮語コミュニケーションA・B			海外研究A
3年次	キリスト教A (キリスト教と倫理) キリスト教B (キリスト教と宗教) キリスト教C (キリスト教と文化) キリスト教D (キリスト教と現代社会)		東北学院史の探究					ドイツ語ⅢA・ⅢB フランス語ⅢA・ⅢB 中国語ⅢA・ⅢB 韓国・朝鮮語ⅢA・ⅢB	英語ⅢA・ⅢB		

※共通教養科目については学科により一部異なります。※2026年3月時点の情報です。

「TGベーシック」の進化

本学の特色である「TGベーシック」は、教養教育の基盤です。2013年度から「TGベーシック」科目群を導入し、教養型私立総合大学としての礎を強固なものとしてきました。全学部の学生が本学で学んだ「証」として身につけておくべき幅広い知識と技能であり、本学卒業生に対する社会からの高い評価にもつながっています。

その「TGベーシック」を、激変する社会により一層求められる「学士力」や「社会人基礎力」の獲得に向けて、2023年度に一部改訂しました。「学士力」はコミュニケーションスキルや論理的思考力、情報リテラシー、問題解決能力などを指し、「社会人基礎力」は主体性や実行力、課題発見力、発信力、柔軟性などを指します。社会が複雑化・高度化する中で、在学中にこれらの能力の土台を育む必要性が高まっています。

例えば、「人間的基礎」科目群の『よき社会生活のためにA・B・C』では、より良い社会生活、健やかな学生生活を送るために必要な知識を身につけます。「知的基礎」科目群の『情報リテラシー』は全学必修とし、社会に出てから必要とされるAI・データサイエンスの基礎的な知識と技能を修得します。また、「課題探究」科目群の『課題探究演習』ではそれぞれの授業で取り扱う課題ごとに学生自らがテーマ設定し、調査を行い、発表・ディベートを行うことなどで、課題発見能力と問題解決能力が培われます。

教養教育センターの教員はこちら



PICK UP! カリキュラム

リーディング&ライティング

大学ではさまざまな授業でレポートを書く機会があります。この授業では、資料を正確に読み取り、議論をしながら理解を深めるワークを通して、レポート作成に必要な読解力を養います。あわせて、レポートの構成や表現、引用の方法などを学び、実践的にレポートを書く力を身につけることをめざしています。

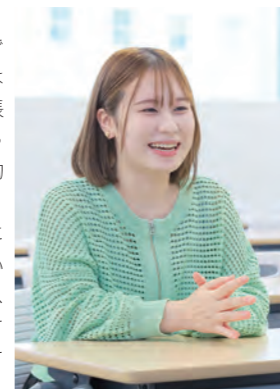
絶対に役立つ基礎スキル
レポート作成を一から学ぶ

法学部 法律学科
1年 遠藤 愛美 さん
(宮城県/東北学院高等学校出身)

レポートの書き方を基礎から学ぶ授業です。情報収集の方法、文献の選び方、文章の構成、引用の方法などを具体的に学びます。読解の回では、新聞記事を精読し、読んだ内容についてグループ内で発表します。講義でインプットしたら実践です。最終課題は2000字程度のレポート作成で、書いたレポートの相互添削にも取り組みます。

私は「スマホ依存」をテーマにし、論文を約40本、書籍を2冊読んで取り組みました。グループワークはみんなが初対面なので初めは緊張しますが、気を遣わず添削しあうことができ、自分の文章を客観的に評価する機会になりました。

正直大変でしたが、すく役に立つ授業であることは間違いないです!「調べる」「書く」「ディスカッションする」という大学生としての根本的なスキルが、実践を通して身につきます。



「共通教養科目」で視野を広げる

1年次に履修する共通教養科目では、所属する学部の専門課程以外の領域の基礎を学ぶことができます。人文系・社会系・自然系の3つの系統の専門基礎の学びを通して学問的な視野を広げること、専門科目のみならず、社会に出てからも物事により深く多角的で高度なアプローチを行う能力を育成します。さらに、従来の学問領域となる文学、歴史学、文化人類学、社会学、経済学などの枠にとらわれることなく、グローバル化や社会的価値観の変化に伴い、『言語論』『ジェンダー論』などの新たな科目も2023年度に導入しています。

「外国語科目」でグローバル化に対応

「TGベーシック」とともに、これまで本学の教養教育の中核とされてきたのが「英語教育」です。グローバル化が進展する中、戦後に開設された東北学院専門学校の英文科の伝統を受け継ぐ本学では、質の高い英語教育を実施してきました。この英語教育センターを2023年度から「外国語教育センター」へと発展させ、英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を学ぶすべての学部の学生を広くサポートしています。英語が苦手な学生は、外国語科目「ベーシック英語」や、英語学習サポートシステム「えいごりらうんじ」で英語基礎力を身につけることができます。一方、いずれの外国語にも3年次までの科目を用意し、より高度な学びを提供します。すべての学生が語学力を伸ばして社会生活で活かせるよう、学習する環境を整えています。

東北学院史の探究

東北学院の歴史について、オンデマンド形式(自分の好きなタイミングで視聴できるスタイル)で授業をします。東北学院は、明治時代に「仙台神学校」として創立されました。授業では学校の歴史を学びながら、日本におけるキリスト教の歴史や、東北学院と地域の結びつきなどにも視野を広げていきます。

時代を超えて息づく精神
創設の想いと歴史を知る

法学部 法律学科
3年 蝶 美怜 さん
(宮城県/聖ウルスラ学院英智高等学校出身)

東北学院の設立から現在までを、創設者や歴代学長の言葉を読みながらたどる授業です。本学が時代ごとに選択してきた方向性や社会への貢献、根底に一貫して流れるキリスト教の精神を学びます。「ホーイ」「シュネーダー」「押川」という建物に冠した名前の意味や、彼らがどのような想いを持って生きたか、東北学院に何を託したかということも心に残りました。

私が本学を志望した理由のひとつは、真新しい高層の都市型キャンパスに憧れたからでした。でも、この授業を受けて139年もの長い歴史、その「古さ」のほうにこそ意識が向くようになりました。確固とした礎と先人の意志の積み重ねによって今の本学があり、これからも地域とともに歩む大学として長く続いていく。その歴史の一員となれることに誇りを感じます。

